

2025年5月発行

関西大学大学院
博士課程前期課程
博士課程後期課程

入学試験問題集

東アジア文化研究科

関西大学大学院

目 次

春学期入学

2025年度

博士課程前期課程

一般入学試験

〔外国語〕…………… 2

外国人留学生入学試験

〔外国語〕…………… 7

博士課程後期課程

外国人留学生入学試験

〔外国語〕…………… 12

秋学期入学

2024年度

博士課程前期課程

一般入学試験

〔外国語〕…………… 18

外国人留学生入学試験

〔外国語〕…………… 22

博士課程後期課程

外国人留学生入学試験

〔外国語〕…………… 26

※出願のあった入試種別・科目のみ掲載しています。(欠席・免除等により受験のなかった科目を除きます。)

著作権の都合上、掲載していない入学試験問題については、窓口にて閲覧することができます。詳細は、関西大学大学院入試情報サイトでご確認ください。

2025年度

[春 学 期 入 学]

M

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
一般

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

科目

中国語（現代中国語）（No. 1）

次の課題文を読み、あとの問いに答えなさい。解答は所定の答案用紙に記入しなさい。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

M

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
一般

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

科目

中国語（現代中国語）（No. 2）

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

問1 文中の下線部(a)～(e)を日本語に訳しなさい。

問2 課題文全体を400字以内で要約しなさい。

参考文献

丁树德(1996)《科技术语翻译中的概念转换》《中国翻译》1996(5):25-26.

(出典：田娇《中国茶文化英语翻译的意义和价值》《福建茶叶》46(05),2024年第5期,pp.147-149.)

以上

M

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

一般

科目

日本語 (No. 1)

1 次文を読み、あとの問1~4に答えなさい。

長年、文化人類学者たちの関心の焦点(メシの種)であった「伝統文化」とそれを支えてきた地域は、今大きな危機にさらされている。そうした地域と文化の崩壊を(1)まの当たりにして、良心的な研究者は無力感に苛まれることになる。これは、誠実に努力しようとすればするほど出てくる症状であろうが、無力感からは何も生まれないことも事実であろう。

九学会連合の調査に参加したある研究者が、一番無力を感じたのは、復帰以前の沖縄調査であったという。日本に復帰して、果たして沖縄によい結果をもたらすか。本土資本に汚染されていくのが目に見えていて、何もすることができなかった。当時の状況では復帰の方法よりも、復帰そのものが関心の的であり、(1)無力を感じた。一体何のための調査であったのか、云々。

かつてコタンに永住することを勧められ、その厚情に感激したが、遂に決行することができなかったという研究者は、アイヌの人達が当面している、もろもろの問題に対して、民族学者や文化人類学者は全く無力であることを痛感するといひ、研究成果の還元など、考えられそうもない、と告白する。ダム建設によって二風谷の聖地が水没するかもしれないというニュースに心を痛めているのみであるという。

無力感とは別の、もうひとつの典型は、研究の成果あるいは研究活動そのものが地域文化のお手本のような役割を果たしてしまう、という可能性である。

刊行した論文や報告書が、現地の人が伝統的民俗文化を実修する際のお手本(シナリオ)となる可能性にどう対応するか。研究者が正しい民俗文化の行ない方を指導する(2)になってよいのか?—これは東京での事例であるが、伝承が研究者の録音テープの中にしこ残っていない、という例は世界中に数しれない。

さらに、現地の村人への還元は、調査時の相互の関係にすでに始まっているはずである、という指摘もある。研究者が異常なほどに伝統的儀礼に(2)しゅうちやくしたために、村人自身の間に、伝統の記述の気運を産み出させてしまったという。これが文化の破壊か、ある種の成果の還元かは、ご本人もおっしゃるとおり、にわかには判断できないが、アイヌ語の教室を研究者が主催しているという例を思い起こして興味深い。

すべてを書くことが許されない例をあげれば、口頭伝承が社会的地位と結びついている場合などである。当面は現在生きている人々の生活が第一であることは認めても、一〇〇年後、二〇〇年後に民族の記録として詳細な文書が評価される時もある、という気も一方ではするといふのである。これは、未来の読者に期待する気持ちであるが、やはり研究者の(3)いちぞんでは決めかねる問題であろう。

研究者が声高に研究の学術的意義を主張したり、あるいは逆に無力感にうち沈んだりすることを許さないような地域もある。(3)重なる調査に疲れた地域やアイデンティティの回復の意識が高まっている地域ではその傾向が顕著である。自分たちの生活そのものが存立基盤を失って崩壊しようとしているときに、それには無関心で無関係をよそおう学問に存在意義があるか、という厳しい問いかけの声に直面するのである。

私は、八重山で「研究者やめますか、それとも人間やめますか」というのに近いことを言われ続けているが、他の研究者も、八重山の人々の、(A)を報告している。研究への協力に対して研究者は自分達に何をしてくれるのか、ということが最大の関心であった、という。私自身も、西表島で開催した研究報告シンポジウムの中で漁業と農業と猟に生きる島の青年に次のように言われた。「ふるさとと思う気持ちが少しでもあるなら、世界の宝であり、ぼくらの生活の基盤であるこのすばらしい自然を守るために、もっと研究を進めて、もっともっと力を貸してもらいたい」。

オーストラリアでの経験として「(B)」と聞かれて回答できなかった、という例が報告されている。私も、コンゴ民主(旧ザイール)共和国で「(C)」。そんな差別的なやり方を神様は決してお許しにならないでしょう」と娘さんから抗議を受けたことがある。

これらの経験のあとに、研究者の真剣な自問自答がやってくる。

ある日本の研究者は、調査村落内に(4)極めて深刻な差別状況があるため、研究成果を公表する時は、学術

M

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
一般

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

科目

日本語 (No. 2)

的に問題だという批判を承知のうえ、村の戸数や人口を変え、そのうえ仮称で通しているという。差別解消のために直接的な提言ができない場合は、少々学問的な正確さが犠牲になっても、それは④を得ないという考えである。

㉓「調査研究」そのものの価値がどの程度あるのか。つまり、われわれの研究活動は、「民族」の生活以上の価値をもちうるのか?— D。そんなことでよいのかというこの問いは、私が西表島で永年言われ続けてきたことである。この問いかけに対して、たとえば研究補助金申請の作文では「 E」などと書くことがないとは言えない。⑤、当該の民族の面前でイエスと答える研究者はもはやいないであろう。

「北」の知が「南」に役立ったものは何だろう?—コロンブス以来の五〇〇年間、結局何ひとつなかったじゃないか、という⑥呪詛に近い声が世界の各地から響くようになってきた。調査した土地や民族の運命と無関係なふりや論文づくりがまったく通用しない時代がよいよやって来たのだということであろう。

宮本常一・安溪遊地『調査されるという迷惑：フィールドに出る前に読んでおく本（増補版）』みずのわ出版、2024年（初版は2008年）、106-108頁（本文中の注記で設問の内容にかかわらないものは省略しています）

問1 文中の下線部(1)～(5)のひらがなは漢字に、漢字はひらがなに改めなさい。

問2 文中の空欄 A ～ E に入る文を次の(ア)～(オ)から選び、その記号を記しなさい。

- (ア) このような今まさに滅びようとする生活様式の正確な記述は、焦眉の急である
- (イ) あなたは、この言葉も習慣も調べてわかるようになったのに、お返しに日本語さえ教えてくれない
- (ウ) 研究者への懐疑の念
- (エ) もう一〇〇年以上調査してきてまだわからないのか
- (オ) 地域ほろんで学問栄える

問3 文中の①～⑤に入れるのに最も適当な語句をそれぞれの語群から一つ選び、その記号を記しなさい。

- ① (ア ゆめゆめ イ つくづく ウ そもそも エ せいぜい)
- ② (ア トメ イ キメ ウ ツメ エ ハメ)
- ③ (ア たび イ まる ウ とき エ ゆれ)
- ④ (ア あり イ みず ウ 要領 エ やむ)
- ⑤ (ア だから イ しかし ウ つまり エ もし)

問4 文中の波線部[x]について、研究者の葛藤を文中に挙げられている例を示しながら説明しなさい。

M

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
一般

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

科目

日本語 (No. 3)

2 次の1~5の文の に入れるのに最も適当な語句をそれぞれの語群から一つ選び、その記号を記しなさい。

1. あまりおすすめはしませんが、あなたが 行くというなら止めません。
(ア そうして イ どうして ウ どうしても エ そうしても)

2. 長崎はきれい 街ですね。
(ア に イ の ウ な エ さ)

3. このデータは物価の上昇というよりは、住民の生活 の向上を示している。
(ア 水平 イ 平均 ウ 階層 エ 水準)

4. きょう見た映画は、 おもしろくありませんでした。
(ア ちっとも イ たっぶり ウ しっかり エ あながち)

5. あなたの主張は てわかりにくい。はっきり言いたいことをおっしゃい。
(ア かがやかしく イ はなばなしく ウ ちからづよく エ まどろこしく)

3 あなたが本研究科で研究しようとするテーマについて、文化交渉学と関連付けて日本語で詳しく、わかりやすく説明しなさい。

以上

研究科	東アジア文化	研究科	受験 科目	日本語 (No. 1)
受験 番号			氏名	

関西大学大学院入学試験答案用紙

採 点	
--------	--

1 次の文章をよく読み、設問1～3に答えなさい。

一五世紀に全盛期を誇り、ルネサンス文化を開花させたヴェネツィアは、一六世紀には (1) 的・ (2) 的に (3) 陰りが (a) が、文化はさらに発展し、黄金時代を迎える。とくにこの時期のヴェネツィアは、絵画のティツィアーノや建築のパラディオのように、西洋美術史上で (3) 的な規範となる天才を生み出したのだった。アテネやフィレンツェなど、多くの都市文明では国力や経済が (b) かった頃に頂点を迎えるが、ヴェネツィアもその (4) である。

一六世紀前半はローマで盛期ルネサンスが (c) が、イタリアでは戦乱の時代であった。一四九四年にフランス王シャルル八世がイタリアに侵攻したことにより、一連のイタリア戦争がはじまる。イタリアは、フランス、スペイン、神聖ローマ帝国など列強がしのぎを (4) けずる戦場となり、イタリア諸国や教皇庁はこれに (d) 。 (5) 的には、一五五九年のカトー・カンブレジの和約によってスペインがイタリアの三分の二を支配下に置くことになるが、ヴェネツィアだけは完全な独立を保ち続けるどころか、戦乱に (e) イタリアの領土を (5) 著しく拡張するのに成功する。

これに対し、一五〇八年、フランス、神聖ローマ帝国、スペイン、教皇領、フィレンツェ、フェッラーラが、対ヴェネツィアのカンブレ同盟を (6) 、ヴェネツィア領土の再分配を求めて戦闘を開始した。翌年のアニャデッロの戦いでヴェネツィアは大敗し、建国以来最大の危機に (f) 。さらに一六〇六年、教皇パウルス五世はヴェネツィアに聖務停止令を出す。ヴェネツィアは持ち前の (5) 巧みな外交戦略を (g) 敵を分断し、何とか独立と領土は保ったものの、本土での発展は停滞した。

また海上交易では、新大陸への進出や喜望峯経由のインド航路を確立したスペインとポルトガルに地中海貿易の指導権を (h) 。ヴェネツィアの貿易量は四分の一に減り、ロンドンやアレクサンドリア航路が (i) 。さらに東地中海ではオスマン帝国が進出してヴェネツィアを (5) 脅かした。オスマン帝国は一四五三年にビザンツ帝国を滅ぼし、ヴェネツィアとジェノヴァの植民地を次々に征服し、一四九九年にはヴェネツィア艦隊を撃破。オスマン帝国は一六世紀初頭に勢力の頂点に達して東西にまたがる大帝国を建設した。ヴェネツィアはギリシアやダルマチアを失い、一五四〇年にはエーゲ海のすべての植民地を失い、一五七一年には、一四八八年に得た交通の要衝キプロス島が激戦の末に陥落。同年のレバントの海戦でオスマン帝国はヨーロッパ連合軍にはじめて敗北するが、地中海におけるオスマン帝国優位の (5) たいせいに影響はなかった。

さらに一五七五年から七六年にはペストが流行し、老匠ティツィアーノをはじめ多くのヴェネツィア人の命を奪った。一四九〇年代には有力な銀行家が次々に倒産しており、共和国の財政も (5) たびかさなる戦争によって (7) した。海上貿易よりも本土からの収入に頼るようになり、それまで海外投資に奔走していた商人たちは、本土での産業に目を向けはじめた。貿易不振によって行き場を失った運用資金は、毛織物をはじめ、ガラス、レース、印刷業など各種の (5) じば産業に投資されるようになったのである。

それまで冷静に計算し、実利のみを求めた (8) 的な商人たちは、貿易主体であったときの多忙さから身をひき、次第に (9) 的で (10) 的となった。貴族たちは大運河沿いに競って豪壮な邸宅を建て、またプレントラ川 (ヴェネト平野を流れ、ヴェネツィアとパドヴァを結ぶ川) 両岸のほか、ヴィチエンツァやヴェローナなど内陸部にヴィラ (別荘) を建て、それらの内部を豪華に装飾した。こうして、芸術がそれまで以上に大きな需要を得ることになったのである。美術品を取引する市場が成立し、印刷業が (5) しんこうして出版社が (j) 、人々の識字率も高まった。また教皇と対立していたため、一六世紀半ば以降に南欧を覆った厳しいカトリック改革運動とも距離を置くことができ、宗教的寛容と思想の自由を求めて多くの知識人や芸術家が来訪した。ビザンツ帝国の崩壊によって、当代一の知識人ベッサリオンはヴェネツィアを「第二のビザンティウム」とみなして移住。枢機卿にも任命された彼は、ギリシア語の写本を大量にヴェネツィア共和国に (5) きぞうし、これがサン・マルコ図書館の母体となった。(宮下規久著『ヴェネツィア 美の都の一千年』岩波新書、2016年、88頁2行目から91頁3行目)

【両面印刷】

裏面に続く場合は ➡ の行から書くこと。

研究科	東アジア文化	研究科	受 験 科 目	日本語 (No. 2)
受 験 番 号			氏 名	

関西大学大学院入学試験答案用紙

採 点	
--------	--

設問1 空欄(1)~(10)に入る語を語群 a から選び、解答欄に記入しなさい。(全て1回ずつ使用します。)

語群 a: 逼迫 最終 刹那 現実 圧倒 結成 政治 享楽 経済 典型

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

設問2 空欄 a~j に入る語を語群 b から選び、例のように適切な形に変えて解答欄に記入しなさい。(全て1回ずつ使用します。) 例 買う→これは、私が昨日買った本です。

語群 b: 乗じる 廃止する 開花する 生じる 林立する 奪う 翻弄する 下火になる 駆使する 見舞う

a	b	c	d	e
f	g	h	i	j

設問3 下線部ア~コのひらがなは常用漢字に、漢字はひらがなにして、解答欄に記入しなさい。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)

2 空欄に適切な助詞を記入しなさい。ただし、「は」と「も」は使えません。

- (1) 発言する際には、堂々とした態度 () おこなひましょう。
- (2) 私たちは馬 () 合う。
- (3) 緊急の際はあせらず、先生の指示 () 従ってください。
- (4) この料理のレシピ () 特別な材料が必要です。
- (5) 日本の中学生達 () の交流は、留学生にとって興味深いものだった。

3 あなたの研究したいことを文化交渉学の視点から簡潔に日本語で述べてください。

以 上

裏面に続く場合は ➡ の行から書くこと。

M

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
留学生

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

科目

日本語 (No. 1)

1 次文を読み、あとの問1~4に答えなさい。

長年、文化人類学者たちの関心の焦点(メシの種)であった「伝統文化」とそれを支えてきた地域は、今大きな危機にさらされている。そうした地域と文化の崩壊を(1)まの当たりにして、良心的な研究者は無力感に苛まれることになる。これは、誠実に努力しようとすればするほど出てくる症状であろうが、無力感からは何も生まれないことも事実であろう。

九学会連合の調査に参加したある研究者が、一番無力を感じたのは、復帰以前の沖縄調査であったという。日本に復帰して、果たして沖縄によい結果をもたらすか。本土資本に汚染されていくのが目に見えていて、何もすることができなかった。当時の状況では復帰の方法よりも、復帰そのものが関心の的であり、(2)無力を感じた。一体何のための調査であったのか、云々。

かつてコタンに永住することを勧められ、その厚情に感激したが、遂に決行することができなかったという研究者は、アイヌの人達が当面している、もろもろの問題に対して、民族学者や文化人類学者は全く無力であることを痛感するといひ、研究成果の還元など、考えられそうもない、と告白する。ダム建設によって二風谷の聖地が水没するかもしれないというニュースに心を痛めているのみであるという。

無力感とは別の、もうひとつの典型は、研究の成果あるいは研究活動そのものが地域文化のお手本のような役割を果たしてしまう、という可能性である。

刊行した論文や報告書が、現地の人が伝統的民俗文化を実修する際のお手本(シナリオ)となる可能性にどう対応するか。研究者が正しい民俗文化の行ない方を指導する(3)になってよいのか?—これは東京での事例であるが、伝承が研究者の録音テープの中にしか残っていない、という例は世界中に数しれない。

さらに、現地の村人への還元は、調査時の相互の関係にすでに始まっているはずである、という指摘もある。研究者が異常なほどに伝統的儀礼に(4)しゅうちゃくしたために、村人自身の間に、伝統の記述の気運を産み出させてしまったという。これが文化の破壊か、ある種の成果の還元かは、ご本人もおっしゃるとおり、にわかには判断できないが、アイヌ語の教室を研究者が主催しているという例を思い起こして興味深い。

すべてを書くことが許されない例をあげれば、口頭伝承が社会的地位と結びついている場合などである。当面は現在生きている人々の生活が第一であることは認めても、一〇〇年後、二〇〇年後に民族の記録として詳細な文書が評価される時もある、という気も一方ではするといふのである。これは、未来の読者に期待する気持ちであるが、やはり研究者の(5)いちぞんでは決めかねる問題であろう。

研究者が声高に研究の学術的意義を主張したり、あるいは逆に無力感にうち沈んだりすることを許さないような地域もある。(6)重なる調査に疲れた地域やアイデンティティの回復の意識が高まっている地域ではその傾向が顕著である。自分たちの生活そのものが存立基盤を失って崩壊しようとしているときに、それには無関心で無関係をよそおう学問に存在意義があるか、という厳しい問いかけの声に直面するのである。

私は、八重山で「研究者やめますか、それとも人間やめますか」というのに近いことを言われ続けているが、他の研究者も、八重山の人々の、(7)Aを報告している。研究への協力に対して研究者は自分達に何をしてくれるのか、ということが最大の関心であった、という。私自身も、西表島で開催した研究報告シンポジウムの中で漁業と農業と猟に生きる島の青年に次のように言われた。「ふるさとと思う気持ちが少しでもあるなら、世界の宝であり、ぼくらの生活の基盤であるこのすばらしい自然を守るために、もっと研究を進めて、もっともっと力を貸してもらいたい」。

オーストラリアでの経験として「(8)B」と聞かれて回答できなかった、という例が報告されている。私も、コンゴ民主(旧ザイール)共和国で「(9)C。そんな差別的なやり方を神様は決してお許しにならないでしょう」と娘さんから抗議を受けたことがある。

これらの経験のあとに、研究者の真剣な自問自答がやってくる。

ある日本の研究者は、調査村落内に(10)極めて深刻な差別状況があるため、研究成果を公表する時は、学術

M

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
留学生

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

科目

日本語 (No. 2)

的に問題だという批判を承知のうえ、村の戸数や人口を変え、そのうえ仮称で通しているという。差別解消のために直接的な提言ができない場合は、少々学問的な正確さが犠牲になっても、それは④を得ないという考えである。

㉒「調査研究」そのものの価値がどの程度あるのか。つまり、われわれの研究活動は、「民族」の生活以上の価値をもちうるのか?— D。そんなことでよいのかというこの問いは、私が西表島で永年言われ続けてきたことである。この問いかけに対して、たとえば研究補助金申請の作文では「 E」などと書くことがないとは言えない。⑤、当該の民族の面前でイエスと答える研究者はもはやいないであろう。

「北」の知が「南」に役立ったものは何だろう?—コロンブス以来の五〇〇年間、結局何ひとつなかったじゃないか、という⑥呪詛に近い声が世界の各地から響くようになってきた。調査した土地や民族の運命と無関係なふりや論文づくりがまったく通用しない時代がよいよやって来たのだということであろう。

宮本常一・安溪遊地『調査されるという迷惑：フィールドに出る前に読んでおく本（増補版）』みずのわ出版、2024年（初版は2008年）、106-108頁（原文中の注記で設問の内容にかかわらないものは省略しています）

問1 文中の下線部(1)～(5)のひらがなは漢字に、漢字はひらがなに改めなさい。

問2 文中の空欄 A ～ E に入る文を次の(ア)～(オ)から選び、その記号を記しなさい。

- (ア) このような今まさに滅びようとする生活様式の正確な記述は、焦眉の急である
- (イ) あなたは、この言葉も習慣も調べてわかるようになったのに、お返しに日本語さえ教えてくれない
- (ウ) 研究者への懐疑の念
- (エ) もう一〇〇年以上調査してきてまだわからないのか
- (オ) 地域ほろんで学問栄える

問3 文中の①～⑤に入れるのに最も適当な語句をそれぞれの語群から一つ選び、その記号を記しなさい。

- ① (ア ゆめゆめ イ つくづく ウ そもそも エ せいぜい)
- ② (ア トメ イ キメ ウ ツメ エ ハメ)
- ③ (ア たび イ まる ウ とき エ ゆれ)
- ④ (ア あり イ みず ウ 要領 エ やむ)
- ⑤ (ア だから イ しかし ウ つまり エ もし)

問4 文中の波線部[x]について、研究者の葛藤を文中に挙げられている例を示しながら説明しなさい。

M

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
留学生

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

科目

日本語 (No. 3)

2 次の1~5の文の に入れるのに最も適当な語句をそれぞれの語群から一つ選び、その記号を記しなさい。

1. あまりおすすめはしませんが、あなたが 行くというなら止めません。
(ア そうして イ どうして ウ どうしても エ そうしても)

2. 長崎はきれい 街ですね。
(ア に イ の ウ な エ さ)

3. このデータは物価の上昇というよりは、住民の生活 の向上を示している。
(ア 水平 イ 平均 ウ 階層 エ 水準)

4. きのう見た映画は、 おもしろくありませんでした。
(ア ちっとも イ たっぷり ウ しっかり エ あながち)

5. あなたの主張は でわかりにくい。はっきり言いたいことをおっしゃい。
(ア かがやかしく イ はなばなしく ウ ちからづよく エ まどろこしく)

3 あなたが本研究科で研究しようとするテーマについて、文化交渉学と関連付けて日本語で詳しく、わかりやすく説明しなさい。

以上

研究科	東アジア文化	研究科	受験科目	日本語 (No. 1)
受験番号			氏名	

関西大学大学院入学試験答案用紙

採 点	
--------	--

1 次の文を読み、設問 1~4 に答えなさい。ただし、第一段落に続く **A** から **E** は本来の順序ではありません。

一五世紀に全盛期を誇り、ルネサンス文化を開花させたヴェネツィアは、一六世紀には (1) 的・(2) 的に (イ) 陰りが **a** が、文化はさらに発展し、黄金時代を迎える。とくにこの時期のヴェネツィアは、絵画のティツィアーノや建築のパラディオのように、西洋美術史上で (3) 的な規範となる天才を生み出したのだった。アテネやフィレンツェなど、多くの都市文明では国力や経済が **b** にかかった頃に頂点を迎えるが、ヴェネツィアもその (4) である。

A これに対し、一五〇八年、フランス、神聖ローマ帝国、スペイン、教皇領、フィレンツェ、フェッラーラが、対ヴェネツィアのカンブレ同盟を (5) 、ヴェネツィア領土の再分配を求めて戦闘を開始した。翌年のアニャデッロの戦いでヴェネツィアは大敗し、建国以来最大の危機に **c** 。さらに一六〇六年、教皇パウルス五世はヴェネツィアに聖務停止令を出す。ヴェネツィアは持ち前の (イ) 巧みな外交戦略を **d** 敵を分断し、何とか独立と領土は保ったものの、本土での発展は停滞した。

B それまで冷静に計算し、実利のみを求めた (6) 的な商人たちは、貿易主体であったときの多忙さから身をひき、次第に (7) 的で (8) 的となった。貴族たちは大運河沿いに競って豪壮な邸宅を建て、またブレンタ川 (ヴェネツィア平野を流れ、ヴェネツィアとパドヴァを結ぶ川) 両岸のほか、ヴィチエンツァやヴェローナなど内陸部にヴィラ (別荘) を建て、それらの内部を豪華に装飾した。こうして、芸術がそれまで以上に大きな需要を得ることになったのである。美術品を取引する市場が成立し、印刷業が (イ) しんこうして出版社が **e** 、人々の識字率も高まった。また教皇と対立していたため、一六世紀半ば以降に南欧を覆った厳しいカトリック改革運動とも距離を置くことができ、宗教的寛容と思想の自由を求めて多くの知識人や芸術家が来訪した。ビザンツ帝国の崩壊によって、当代一の知識人ベッサリオンはヴェネツィアを「第二のビザンティウム」とみなして移住。枢機卿にも任命された彼は、ギリシア語の写本を大量にヴェネツィア共和国に (イ) きざうし、これがサン・マルコ図書館の母体となった。

C また海上交易では、新大陸への進出や喜望峯経由のインド航路を確立したスペインとポルトガルに地中海貿易の指導権を **f** 。ヴェネツィアの貿易量は四分の一に減り、ロンドンやアレクサンドリア航路が **g** 。さらに東地中海ではオスマン帝国が進出してヴェネツィアを (イ) 脅かした。オスマン帝国は一四五三年にビザンツ帝国を滅ぼし、ヴェネツィアとジェノヴァの植民地を次々に征服し、一四九九年にはヴェネツィア艦隊を撃破。オスマン帝国は一六世紀初頭に勢力の頂点に達して東西にまたがる大帝國を建設した。ヴェネツィアはギリシアやダルマチアを失い、一五四〇年にはエーゲ海のすべての植民地を失い、一五七一年には、一四八八年に得た交通の要衝キプロス島が激戦の末に陥落。同年のレバントの海戦でオスマン帝国はヨーロッパ連合軍にはじめて敗北するが、地中海におけるオスマン帝国優位の (イ) たいせいに影響はなかった。

D 一六世紀前半はローマで盛期ルネサンスが **h** が、イタリアでは戦乱の時代であった。一四九四年にフランス王シャルル八世がイタリアに侵攻したことにより、一連のイタリア戦争がはじまる。イタリアは、フランス、スペイン、神聖ローマ帝国など列強がしのぎを (イ) けずる戦場となり、イタリア諸国や教皇庁はこれに **i** 。(9) 的には、一五五九年のカトー・カンブレジの和約によってスペインがイタリアの三分の二を支配下に置くことになるが、ヴェネツィアだけは完全な独立を保ち続けるどころか、戦乱に **j** イタリアの領土を (イ) 著しく拡張するのに成功する。

E さらに一五七五年から七六年にはベストが流行し、老巨匠ティツィアーノをはじめ多くのヴェネツィア人の命を奪った。一四九〇年代には有力な銀行家が次々に倒産しており、共和国の財政も (イ) たびかさなる戦争によって (10) した。海上貿易よりも本土からの収入に頼るようになり、それまで海外投資に奔走していた商人たちは、本土での産業に目を向けはじめた。貿易不振によって行き場を失った運用資金は、毛織物をはじめ、ガラス、レース、印刷業など各種の (イ) じば産業に投資されるようになったのである。(宮下規久著『ヴェネツィア 美の都の一千年』岩波新書、2016年、88頁2行目から91頁3行目)

【両面印刷】

裏面に続く場合は ➡ の行から書くこと。

研究科	東アジア文化	研究科	受験科目	日本語 (No. 2)
受験番号			氏名	

関西大学大学院入学試験答案用紙

採点	
----	--

設問1 空欄(1)~(10)に入る語を語群Xから選び、解答欄に記入しなさい。(全て1回ずつ使用します。)

語群X: 逼迫 最終 刹那 現実 圧倒 結成 政治 享楽 経済 典型

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

設問2 空欄a~jに入る語を語群Yから選び、例のように適切な形に変えて解答欄に記入しなさい。(全て1回ずつ使用します。) 例 買う→これは、私が昨日買った本です。

語群Y: 乗じる 廃止する 開花する 生じる 林立する 奪う 翻弄する 下火になる 駆使する 見舞う

a	b	c	d	e
f	g	h	i	j

設問3 下線部ア~コのひらがなは常用漢字に、漢字はひらがなにして、解答欄に記入しなさい。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)

設問4 第一段落に続くAからEを文意の通る順番に並べ替え、解答欄に書きなさい。

第一段落→() → () → () → () → ()

2 自身の研究テーマを文化交渉学と関連付けて日本語で詳しく、わかりやすく説明しなさい。

以上

D

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
留学生

博士課程後期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

科目

日本語 (No. 1)

1 次の文を読み、あとの問 1~5 に答えなさい。

人間を対象とする野外科学の場合、研究成果の公表と還元は、フィールド・ワークを実施する前から充分に考慮しておくべき問題である。

㉑ 研究の成果を発表して、被調査地域の人々がそれを読んだとすると、相手に迷惑がかかるのではないか——この反省を、フィールド・ワーク中からくりかえしていないと、㉒ けんざい化する、しないにかかわらず問題を引き起こすことがある。

一九七二年ごろ、日本のある研究者が民族学関係のある雑誌に韓国の旅行記風の随筆を書いた。その中で、韓国における中央情報部と研究者の緊張関係が曝露風に記されていたことが問題となり、執筆者と無関係の日本人若手研究者が韓国の文化人類学会の理事会に呼ばれ、日本人の研究姿勢等について詰問されるという事件が起った。㉓ 随筆を書いた時、問題になるとは思わなかった、ということであろうが、深い考えもなく書いたものが日本人研究者全体への不信にまで発展しかねなかった例である。

いわゆる“インフォーマント” (A) と私は思う) のライフヒストリー等について、現地の人々の目には直接ふれない物に書いてきた、という若手研究者がいる。論文の場合、流行小説と違って読者層が限られているため、問題は起らなかったというのである。

しかし、いつもこのような研究者側の期待どおりに事がはこぶとはかぎらない。調査報告書を話者に送り、高齢者にも読み易いようにと、言葉づかいにもかなり配慮してきたというベテランの研究者でも、本人の目に触れることは絶対にあるまいと考えて ㉔ 実名のまま公表したところ、別の研究者がそのデータを無思慮に引用し、本人の目に触れることになってしまう危険性がでてきたということがあった。

方言調査の例では、ある村の方言がまわりの村々と違い、その理由は、被差別部落であることだと推定されたのだが、そこだけを空白にすることもできず、和文報告書では理由を述べずに方言の違いという事実だけを書いた。それだけの配慮をした研究者も、英文解説の中ではこれ幸いとはっきりと書いてしまった。しかし、例えば、その村からは英語が読める人が将来にわたって出ないだろうという推定には何の根拠もないであろう。

これらの例の背後には、研究者は、例えば学会誌や英語論文といった被調査者には越えがたい「専門性」という ㉕ 砦にいつでも閉じこもることができるのだという考えがひそんでいるのではないか。しかし、そのような考えはもはや幻想である。砦の安全を保証していると一部の研究者が信じてきた壁は急速に ㉖ くずれつつある。

…… [中略] ……

長年、文化人類学者たちの関心の焦点(メシの種)であった「伝統文化」とそれを支えてきた地域は、今大きな危機にさらされている。そうした地域と文化の崩壊を ㉗ まの当たりにして、良心的な研究者は無力感に苛まれることになる。これは、誠実に努力しようとするほど出てくる症状であろうが、無力感からは何も生まれないことも事実であろう。

九学会連合の調査に参加したある研究者が、一番無力を感じたのは、復帰以前の沖縄調査であったという。日本に復帰して、果たして沖縄によい結果をもたらすか。本土資本に汚染されていくのが目に見えていて、何もすることができなかった。当時の状況では復帰の方法よりも、復帰そのものが関心の的であり、 ㉘ 無力を感じた。一体何のための調査であったのか、云々。

かつてコタンに永住することを勧められ、その厚情に感激したが、遂に決行することができなかったという研究者は、アイヌの人達が当面している、もろもろの問題に対して、民族学者や文化人類学者は全く無力であることを痛感するといひ、研究成果の還元など、考えられそうもない、と告白する。ダム建設によって二風谷の聖地が水没するかもしれないというニュースに心を痛めているのみであるという。

無力感とは別の、もうひとつの典型は、研究の成果あるいは研究活動そのものが地域文化のお手本のような

D

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
留学生

博士課程後期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

科目

日本語 (No. 2)

役割を果たしてしまう、という可能性である。

刊行した論文や報告書が、現地の人が伝統的民俗文化を実修する際のお手本(シナリオ)となる可能性にどう対応するか。研究者が正しい民俗文化の行ない方を指導する②になってよいのか?—これは東京での事例であるが、伝承が研究者の録音テープの中にしか残っていない、という例は世界中に数しれない。

さらに、現地の村人への還元は、調査時の相互の関係にすでに始まっているはずである、という指摘もある。研究者が異常なほどに伝統的儀礼に⑦しゅうちゃくしたために、村人自身の間に、伝統の記述の気運を産み出させてしまったという。これが文化の破壊か、ある種の成果の還元かは、ご本人もおっしゃるとおり、にわかには判断できないが、アイヌ語の教室を研究者が主催しているという例を思い起こして興味深い。

すべてを書くことが許されない例をあげれば、口頭伝承が社会的地位と結びついている場合などである。当面は現在生きている人々の生活が第一であることは認めても、一〇〇年後、二〇〇年後に民族の記録として詳細な文書が評価される時もある、という気も一方ではするということである。これは、未来の読者に期待する気持ちであるが、やはり研究者の⑧いちぞんでは決めかねる問題であろう。

研究者が声高に研究の学術的意義を主張したり、あるいは逆に無力感にうち沈んだりすることを許さないような地域もある。③重なる調査に疲れた地域やアイデンティティの回復の意識が高まっている地域ではその傾向が顕著である。自分たちの生活そのものが存立基盤を失って崩壊しようとしているときに、それには無関心で無関係をよそおう学問に存在意義があるか、という厳しい問いかけの声に直面するのである。

私は、八重山で「研究者やめますか、それとも人間やめますか」というのに近いことを言われ続けているが、他の研究者も、八重山の人々の、Bを報告している。研究への協力に対して研究者は自分達に何をしてくれるのか、ということが最大の関心であった、という。私自身も、西表島で開催した研究報告シンポジウムの中で漁業と農業と猟に生きる島の青年に次のように言われた。「ふるさとと思う気持ちが少しでもあるなら、世界の宝であり、ぼくらの生活の基盤であるこのすばらしい自然を守るために、もっと研究を進めて、もっともっと力を貸してもらいたい」。

オーストラリアでの経験として「C」と聞かれて回答できなかった、という例が報告されている。私も、コンゴ民主(旧ザイール)共和国で「D」。そんな差別的なやり方を神様は決してお許しにならないでしょう」と娘さんから抗議を受けたことがある。

これらの経験のあとに、研究者の真剣な自問自答がやってくる。

ある日本の研究者は、調査村落内に⑨極めて深刻な差別状況があるため、研究成果を公表する時は、学術的に問題だという批判を承知のうえ、村の戸数や人口を変え、そのうえ仮称で通しているという。差別解消のために直接的な提言ができない場合は、少々学問的な正確さが犠牲になっても、それは④を得ないという考えである。

⑩「調査研究」そのものの価値がどの程度あるのか。つまり、われわれの研究活動は、「民族」の生活以上の価値をもちうるのか?—地域ほろんで学問栄える。そんなことでよいのかというこの問いは、私が西表島で永年言われ続けてきたことである。この問いかけに対して、たとえば研究補助金申請の作文では「E」など書くことがないとは言えない。⑤、当該の民族の面前でイエスと答える研究者はもはやいないであろう。

「北」の知が「南」に役立ったものは何だろう?—コロンブス以来の五〇〇年間、結局何ひとつなかったじゃないか、という⑩呪詛に近い声が世界の各地から響くようになってきた。調査した土地や民族の運命と無関係なふりや論文づくりがまったく通用しない時代がいよいよやって来たのだということであろう。

宮本常一・安溪遊地『調査されるという迷惑：フィールドに出る前に読んでおく本(増補版)』みずのわ出版、

2024年(初版は2008年)、100-101頁、106-108頁(本文中の注記で設問の内容にかかわらないものは省略しています)

D

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
留学生

博士課程後期課程	東アジア文化	研究科	文化交渉学	専攻
----------	--------	-----	-------	----

科目	日本語 (No. 3)
----	-------------

問1 文中の下線部(1)～(10)のひらがなは漢字に、漢字はひらがなに改めなさい。

問2 文中の空欄 ～ に入る文を次の(ア)～(オ)から選び、その記号を記しなさい。

- (ア) このような今まさに滅びようとする生活様式の正確な記述は、焦眉の急である
- (イ) あなたは、ここの言葉も習慣も調べてわかるようになったのに、お返しに日本語さえ教えてくれない
- (ウ) 研究者への懐疑の念
- (エ) もう一〇〇年以上調査してきてまだわからないのか
- (オ) 情報が研究者に向かって一方的に流れるのが当然といわんばかりの用語だ

問3 文中の ～ に入れるのに最も適当な語句をそれぞれの語群から一つ選び、その記号を記しなさい。

- ① (ア ゆめゆめ イ つくづく ウ そもそも エ せいぜい)
- ② (ア トメ イ キメ ウ ツメ エ ハメ)
- ③ (ア たび イ まる ウ とき エ ゆれ)
- ④ (ア あり イ みず ウ 要領 エ やむ)
- ⑤ (ア だから イ しかし ウ つまり エ もし)

問4 文中の波線部[x]について、研究成果の発表によって被調査地域に迷惑がかかるとはどういうことか、文中に挙げられている例を示しながら具体的に説明しなさい。

問5 文中の波線部[y]について、研究者の葛藤を文中に挙げられている例を示しながら説明しなさい。

あなたが本研究科で研究しようとするテーマについて、文化交渉学と関連付けて日本語で詳しく、わかりやすく説明しなさい。

以上

2024年度

[秋 学 期 入 学]

M

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

一般 秋学期入学

科目	日本語 【No. 1】
----	-------------

[I] 次のA～Eは、『食の人類史：ユーラシアの狩猟・採集、農耕、遊牧』（佐藤洋一郎著、中公新書、2016年）の163頁16行目～165頁15行目の段落を、順序を変えて並べたものです。A～Eの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

A：ムギなど穀類の栽培と家畜の飼養とは、ある意味で している。家畜の群れが、人間の食料としてのムギの草を食べてしまうからである。両者を併存させようと思えば、家畜の動きを柵かなにかでコントロールしなければならない。二つの生業は、ゆくゆくは分かれゆく運命にあった。こうしたなか、西アジアで、家畜の餌となる草原が何らかの理由で少なくなってきたとき、家畜を飼う人びとが、集落を離れて移動するようになった。これが遊牧のおこりではないかというわけだ。

B：さらに、仔を産ませ集団を維持するのはもっとたいへんなことである。仔を産ませるには、若い個体を、つがいで捕まえることが必要になる。 つがいで捕まえることができても、群れを維持しようと思えば常に新しい血を入れてやる必要がある。しかも飼育するとなると、彼らにも食べさせる必要がある。狩猟や採集に明け暮れていた人びとにとって、家畜に回すだけの余計な食料があったとは思えない。草原があれば家畜は食えただろうが、しかし草原地帯はヒトが食べる穀類の生産には不向きである。

C：しかし現実の問題として考えると、野生動物を手なずけて家畜にするのはそれほど簡単なことではなさそうだ。野生動物は足が早い。わなを仕掛けたり矢を射かけて群れの何頭かを殺して捕まえることはできても、生け捕りにするのは相当にたいへんである。なにしろヒトは運動能力という では、哺乳動物としては相当にのろまな類に属するのだから。

D：ただし、先に挙げた松原も指摘しているように、飼育の前提となる動物の生態の理解は、野生動物の狩猟やかかわりによって培われたものである。さらに、トナカイのように野生種が残存している家畜では、今も、野生種と家畜種との間に交流がある。国立民族学博物館の佐々木史郎によると、野生のトナカイが、家畜のトナカイの個体を多量に「連れ去る」ようなこともおきるという。また遊牧民たちは、一八世紀ころまでは家畜としてのトナカイの肉は自らは食べず、野生の個体を獲ってその肉を食べていたという。人間、野生のトナカイ、家畜としてのトナカイのこうした関係をみると、遊牧の起源を狩猟に求めるのはごく なことのようにも思われる。

M

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

一般 秋学期入学

科目	日本語 【No. 2】
----	-------------

E: こうした理由から、最近では、遊牧が狩猟起源ではなく農耕から派生したという考え方が強くなってきている。西アジアの先土器新石器時代 (PPN) の遺跡からは、さまざまなムギやマメの種子のほか、ヒツジやヤギなどの家畜、ガゼルなど野生動物の骨がたくさん出土する。おそらく人びとの食の形態は、ムギから糖質を、動物の肉などからタンパク質を得ていたのだろうと思われる。だが、動物の骨のうち、家畜と考えられるヒツジやヤギの骨が増えるのは、PPN 期中後半、PPNB と呼ばれる時期のさらに後半になってからのことである。麦農耕はこれに先立ち、PPNB 期にはすでに始まっていたと考えられることから、家畜を飼う生業よりも、ムギを栽培する麦農耕のほうがわずかに早く始まっていたことが考えられる。遊牧が農耕から分かれたと考える根拠のひとつは にある。

問1 上の段落A～Eは、次の☆と★の間に入る。A～Eを文意が通るように並べかえ、その記号を記入しなさい。

☆ところで遊牧という生業はいつ、どのようにしておこったのか。これには大きく二つの仮説がある。ひとつは、それが狩猟という生業から分かれてきたというものである。なるほど、遊牧は動物の群れを管理する生業なので、野生動物を手なずけて家畜にしたと考えるのは合理性がありそうだ。国立民族学博物館名誉教授の松原正毅は、「(遊牧が) 本来的に移動する動物群を狩猟対象として追尾したところに起源している」(『ユーラシア草原からのメッセージ』) と述べて、この考えを支持している。

★結論として、遊牧の起源は、どうやら地域や飼育する家畜種によっても異なるようで、一律の答えを出すことはできないのかもしれない。また後述するように、農耕と遊牧の両者には相互依存性があり、ある意味では、両者のどちらが先でどちらが後かという問いは、ニワトリが先か卵が先かの議論にも似てそれほど本質的な問いではない、ともいえそうである。

問2 空欄 ～ に入れるのに最も適当な語句をそれぞれの語群から選び、その記号を答えなさい。

(ア 自立自存 イ 適材適所 ウ 相互補完 エ 利益相反)

(ア 仮に イ まるで ウ けっして エ どうして)

M

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

一般 秋学期入学

科目	日本語 【No. 3】
----	-------------

(ア 線 イ 手 ウ 面 エ 目)

(ア 天然 イ 自然 ウ 不自然 エ 不可解)

(ア いずこ イ どこ ウ あちら エ ここ)

問3 遊牧の起源について、文中で紹介されている説を紹介しながら著者の考えを説明しなさい。

[II] 次の1～10の文のに入る語句として最も適当なものをそれぞれの語群から一つ選び、その記号を答えなさい。

1. 学生たちは寝る間も学業に励んでいる。
(ア おしまず イ 気にして ウ おしんで エ おいて)
2. 彼女は寝食をほど研究に熱中している。
(ア おぼえる イ わすれる ウ そなえる エ かえる)
3. 失敗をごまかそうとして、そんな言い訳をするなんて。見損なったよ。
(ア 言うに及ばず イ 言うが早いか ウ 言うことからして エ 言うに事欠いて)
4. 聞いているなら返事してくださいよ。
(ア ぐらい イ ほど ウ ばかり エ でも)
5. お腹がいたいなら、内科をしてください。
(ア 治療 イ 看病 ウ 受験 エ 受診)
6. 彼女のはかたく、どんなに説得にもゆらがなかった。
(ア 医師 イ 遺址 ウ 石 エ 意志)
7. 先生のご講義はすぎて、一年生にはむずかしい。
(ア 高尚 イ 交渉 ウ 考証 エ 校章)

M

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

一般 秋学期入学

科目	日本語 【No. 4】
----	-------------

8. 最近のきみのだらけた生活態度には しないな。しっかりしたまえ。

(ア 歓心 イ 感心 ウ 寒心 エ 関心)

9. 図書館で適当に 本を読んでもいたらとてもおもしろかった。

(ア かりる イ かりた ウ かす エ かえた)

10. この複雑な概念をひとことで説明するのは だ。

(ア 易しい イ 難しい ウ 困難 エ 苦難)

[III] あなたが本研究科でやろうとしている研究について、文化交渉学と関連づけて説明しなさい。

以上

M

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

留学生 秋学期入学

科目	日本語 【No. 1】
----	-------------

[I] 次のA～Eは、『食の人類史：ユーラシアの狩猟・採集、農耕、遊牧』（佐藤洋一郎著、中公新書、2016年）の163頁16行目～165頁15行目の段落を、順序を変えて並べたものです。A～Eの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

A：ムギなど穀類の栽培と家畜の飼養とは、ある意味で している。家畜の群れが、人間の食料としてのムギの草を食べてしまうからである。両者を併存させようと思えば、家畜の動きを柵かなにかでコントロールしなければならない。二つの生業は、ゆくゆくは分かれゆく運命にあった。こうしたなか、西アジアで、家畜の餌となる草原が何らかの理由で少なくなってきたとき、家畜を飼う人びとが、集落を離れて移動するようになった。これが遊牧のおこりではないかというわけだ。

B：さらに、仔を産ませ集団を維持するのはもっとたいへんなことである。仔を産ませるには、若い個体を、つがいで捕まえることが必要になる。 つがいで捕まえることができても、群れを維持しようと思えば常に新しい血を入れてやる必要がある。しかも飼育するとなると、彼らにも食べさせる必要がある。狩猟や採集に明け暮れていた人びとにとって、家畜に回すだけの余計な食料があったとは思えない。草原があれば家畜は食えただろうが、しかし草原地帯はヒトが食べる穀類の生産には不向きである。

C：しかし現実の問題として考えると、野生動物を手なずけて家畜にするのはそれほど簡単なことではなさそうだ。野生動物は足が早い。わなを仕掛けたり矢を射かけて群れの何頭かを殺して捕まえることはできても、生け捕りにするのは相当にたいへんである。なにしろヒトは運動能力という では、哺乳動物としては相当にのろまな類に属するのだから。

D：ただし、先に挙げた松原も指摘しているように、飼育の前提となる動物の生態の理解は、野生動物の狩猟やかかわりによって培われたものである。さらに、トナカイのように野生種が残存している家畜では、今も、野生種と家畜種との間に交流がある。国立民族学博物館の佐々木史郎によると、野生のトナカイが、家畜のトナカイの個体を多量に「連れ去る」ようなこともおきるという。また遊牧民たちは、一八世紀ころまでは家畜としてのトナカイの肉は自らは食べず、野生の個体を獲ってその肉を食べていたという。人間、野生のトナカイ、家畜としてのトナカイのこうした関係をみると、遊牧の起源を狩猟に求めるのはごく なことのようにも思われる。

M

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

留学生 秋学期入学

科目	日本語 【No. 2】
----	-------------

E: こうした理由から、最近では、遊牧が狩猟起源ではなく農耕から派生したという考え方が強くなってきている。西アジアの先土器新石器時代 (PPN) の遺跡からは、さまざまなムギやマメの種子のほか、ヒツジやヤギなどの家畜、ガゼルなど野生動物の骨がたくさん出土する。おそらく人びとの食の形態は、ムギから糖質を、動物の肉などからタンパク質を得ていたのだろうと思われる。だが、動物の骨のうち、家畜と考えられるヒツジやヤギの骨が増えるのは、PPN 期中後半、PPNB と呼ばれる時期のさらに後半になってからのことである。麦農耕はこれに先立ち、PPNB 期にはすでに始まっていたと考えられることから、家畜を飼う生業よりも、ムギを栽培する麦農耕のほうがわずかに早く始まっていたことが考えられる。遊牧が農耕から分かれたと考える根拠のひとつは にある。

問1 上の段落A～Eは、次の☆と★の間に入る。A～Eを文意が通るように並べかえ、その記号を記入しなさい。

☆ところで遊牧という生業はいつ、どのようにしておこったのか。これには大きく二つの仮説がある。ひとつは、それが狩猟という生業から分かれてきたというものである。なるほど、遊牧は動物の群れを管理する生業なので、野生動物を手なずけて家畜にしたと考えるのは合理性がありそうだ。国立民族学博物館名誉教授の松原正毅は、「(遊牧が) 本来的に移動する動物群を狩猟対象として追尾したところに起源している」(『ユーラシア草原からのメッセージ』) と述べて、この考えを支持している。

★結論として、遊牧の起源は、どうやら地域や飼育する家畜種によっても異なるようで、一律の答えを出すことはできないのかもしれない。また後述するように、農耕と遊牧の両者には相互依存性があり、ある意味では、両者のどちらが先でどちらが後かという問いは、ニワトリが先か卵が先かの議論にも似てそれほど本質的な問いではない、ともいえそうである。

問2 空欄 ～ に入れるのに最も適当な語句をそれぞれの語群から選び、その記号を答えなさい。

(ア 自立自存 イ 適材適所 ウ 相互補完 エ 利益相反)

(ア 仮に イ まるで ウ けっして エ どうして)

M

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

留学生 秋学期入学

科目	日本語 【No. 3】
----	-------------

(ア 線 イ 手 ウ 面 エ 目)

(ア 天然 イ 自然 ウ 不自然 エ 不可解)

(ア いずこ イ どこ ウ あちら エ ここ)

問3 遊牧の起源について、文中で紹介されている説を紹介しながら著者の考えを説明しなさい。

[II] 次の1～10の文のに入る語句として最も適当なものをそれぞれの語群から一つ選び、その記号を答えなさい。

1. 学生たちは寝る間も学業に励んでいる。
(ア おしまず イ 気にして ウ おしんで エ おいて)
2. 彼女は寝食をほど研究に熱中している。
(ア おぼえる イ わすれる ウ そなえる エ かえる)
3. 失敗をごまかそうとして、そんな言い訳をするなんて。見損なったよ。
(ア 言うに及ばず イ 言うが早いか ウ 言うことからして エ 言うに事欠いて)
4. 聞いているなら返事してくださいよ。
(ア ぐらい イ ほど ウ ばかり エ でも)
5. お腹がいたいなら、内科をしてください。
(ア 治療 イ 看病 ウ 受験 エ 受診)
6. 彼女のはかたく、どんなに説得にもゆらぎなかった。
(ア 医師 イ 遺址 ウ 石 エ 意志)
7. 先生のご講義はすぎて、一年生にはむずかしい。
(ア 高尚 イ 交渉 ウ 考証 エ 校章)

M

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程前期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

留学生 秋学期入学

科目	日本語 【No. 4】
----	-------------

8. 最近のきみのだらけた生活態度には しないな。しっかりしたまえ。

(ア 歓心 イ 感心 ウ 寒心 エ 関心)

9. 図書館で適当に 本を読んでみたらとてもおもしろかった。

(ア かりる イ かりた ウ かす エ かえた)

10. この複雑な概念をひとことで説明するのは だ。

(ア 易しい イ 難しい ウ 困難 エ 苦難)

[Ⅲ] あなたが本研究科でやろうとしている研究について、文化交渉学と関連づけて説明しなさい。

以上

D

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程後期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

留学生 秋学期入学

科目	日本語 【No. 1】
----	-------------

[I] 次のA～Fは、『食の人類史：ユーラシアの狩猟・採集、農耕、遊牧』（佐藤洋一郎著、中公新書、2016年）の163頁16行目～166頁2行目の段落を、順序を変えて並べたものです。A～Fの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

A：ムギなど穀類の栽培と家畜の飼養とは、ある意味で している。家畜の群れが、人間の食料としてのムギの草を食べてしまうからである。両者を①へいぞんさせようと思えば、家畜の動きを柵かなにかでコントロールしなければならない。二つの生業は、ゆくゆくは分かれゆく運命にあった。こうしたなか、西アジアで、家畜の②餌となる草原が何らかの理由で少なくなってきたとき、家畜を飼う人びとが、③集落を離れて移動するようになった。これが遊牧のおこりではないかというわけだ。

B：さらに、仔を産ませ集団を維持するのはもっとたいへんなことである。仔を産ませるには、若い④こたいを、つがいで捕まえることが必要になる。 つがいで捕まえることができても、群れを維持しようと思えば常に新しい血を入れてやる必要がある。しかも飼育するとなると、彼らにも食べさせる必要がある。狩猟や採集に明け暮れていた人びとにとって、家畜に回すだけの余計な食料があったとは思えない。草原があれば家畜は食えただろうが、しかし草原地帯はヒトが食べる穀類の生産には不向きである。

C：しかし現実の問題として考えると、野生動物を手なずけて家畜にするのはそれほど簡単なことではなさそうだ。野生動物は足が早い。わなを仕掛けたり矢を射かけて群れの何頭かを殺して捕まえることはできても、生け捕りにするのは相当にたいへんである。なにしろヒトは運動能力という では、哺乳動物としては相当にのろまな類に属するのだから。

D：結論として、遊牧の起源は、どうやら地域や飼育する家畜種によっても異なるようで、一律の答えを出すことはできないのかもしれない。また後述するように、農耕と遊牧の両者には相互依存性があり、ある意味では、両者のどちらが先でどちらが後かという問いは、ニワトリが先か卵が先かの議論にも似てそれほど本質的な問いではない、ともいえそうである。

E：ただし、先に挙げた松原も指摘しているように、飼育の前提となる動物の生態の理解は、野生動物の狩猟やかかわりによって⑤つちかわれたものである。さらに、トナカイのように

D

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程後期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

留学生 秋学期入学

科目	日本語 【No. 2】
----	-------------

野生種が残存している家畜では、今も、野生種と家畜種との間に交流がある。国立民族学博物館の佐々木史郎によると、野生のトナカイが、家畜のトナカイの④こたいを多量に「連れ去る」ようなこともおきるという。また遊牧民たちは、一八世紀ころまでは家畜としてのトナカイの肉は自らは食わず、野生の④こたいを獲ってその肉を食べていたという。人間、野生のトナカイ、家畜としてのトナカイのこうした関係をみてみると、遊牧の起源を狩猟を求めるのはごく なことのようにも思われる。

F：こうした理由から、最近では、遊牧が狩猟起源ではなく農耕から派生したという考え方が強くなってきている。西アジアの先土器新石器時代（PPN）の遺跡からは、さまざまなムギやマメの種子のほか、ヒツジやヤギなどの家畜、ガゼルなど野生動物の骨がたくさん出土する。おそらく人びとの食の形態は、ムギから糖質を、動物の肉などからタンパク質を得ていたのだろうと思われる。だが、動物の骨のうち、家畜と考えられるヒツジやヤギの骨が増えるのは、PPN 期中後半、PPNB と呼ばれる時期のさらに後半になってからのことである。麦農耕はこれに先立ち、PPNB 期にはすでに始まっていたと考えられることから、家畜を飼う生業よりも、ムギを栽培する麦農耕のほうがわずかに早く始まっていたことが考えられる。遊牧が農耕から分かれたと考える根拠のひとつは にある。

問 1 上の段落 A～F は、次の☆に続く文章である。A～F を文意が通るように並べかえ、その記号を記入しなさい。

☆ところで遊牧という生業はいつ、どのようにしておこったのか。これには大きく二つの仮説がある。ひとつは、それが狩猟という生業から分かれてきたというものである。なるほど、遊牧は動物の群れを管理する生業なので、野生動物を手なずけて家畜にしたと考えるのは合理性がありそうだ。国立民族学博物館名誉教授の松原正毅は、「(遊牧が) 本来的に移動する動物群を狩猟対象として追尾したところに起源している」(『ユーラシア草原からのメッセージ』) と述べて、この考えを支持している。

問 2 空欄 ～ に入れるのに最も適当な語句をそれぞれの語群から選び、その記号を答えなさい。

(ア 自立自存 イ 適材適所 ウ 相互補完 エ 利益相反)

D

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程後期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

留学生 秋学期入学

科目	日本語 【No. 3】
----	-------------

2 (ア 仮に イ まるで ウ けっして エ どうして)

3 (ア 線 イ 手 ウ 面 エ 目)

4 (ア 天然 イ 自然 ウ 不自然 エ 不可解)

5 (ア いずこ イ どこ ウ あちら エ ここ)

問3 下線部①～⑤の漢字はひらがなに、ひらがなは漢字に直し、記入しなさい。

問4 遊牧の起源について、文中で紹介されている説を紹介しながら著者の考えを説明しなさい。

【II】 次の1～10の文の に入る語句として最も適当なものをそれぞれの語群から一つ選び、その記号を答えなさい。

1. 学生たちは寝る間も 学業に励んでいる。

(ア おしまず イ 気にして ウ おしんで エ おいて)

2. 彼女は寝食を ほど研究に熱中している。

(ア おぼえる イ わずれる ウ そなえる エ かえる)

3. 失敗をごまかそうとして、 そんな言い訳をするなんて。見損なったよ。

(ア 言うに及ばず イ 言うが早いか ウ 言うことからして エ 言うに事欠いて)

4. 聞いているなら返事 してくださいよ。

(ア ぐらい イ ほど ウ ばかり エ でも)

5. お腹がいたいなら、内科を してください。

(ア 治療 イ 看病 ウ 受験 エ 受診)

D

関西大学大学院入学試験問題

(7月募集)

博士課程後期課程

東アジア文化

研究科

文化交渉学

専攻

留学生 秋学期入学

科目	日本語 【No. 4】
----	-------------

6. 彼女の□□□□はかたく、どんなに説得にもゆらがなかった。
(ア 医師 イ 遺址 ウ 石 エ 意志)
7. 先生のご講義は□□□□すぎて、一年生にはむずかしい。
(ア 高尚 イ 交渉 ウ 考証 エ 校章)
8. 最近のきみのだらけた生活態度には□□□□しないな。しっかりしたまえ。
(ア 歎心 イ 感心 ウ 寒心 エ 関心)
9. 図書館で適当に□□□□本を読んでもいたらとてもおもしろかった。
(ア かりる イ かりた ウ かす エ かえた)
10. この複雑な概念をひとことで説明するのは□□□□だ。
(ア 易しい イ 難しい ウ 困難 エ 苦難)

[III] あなたが本研究科でやろうとしている研究について、文化交渉学と関連づけて説明しなさい。

以上

関西大学大学院

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL 06-6368-1121 (大代表)